

第3次佐渡ジオパーク基本計画 方向性

これまでは認定審査を考慮して活動してきたが、今回の審査で「条件付き再認定」となった。この結果を契機に、本計画は「佐渡らしさ」を意識した活動を前提とした内容としたい。

【計画の方針】

<第2次基本計画>

- ①科学的根拠に基づいていること
- ②幅広い人が楽しめること
- ③自然環境と地域に配慮したものであること
- ④安全であること



「佐渡をまるごと学び楽しむことができる地域づくり」を目的とする

<第3次基本計画> 「楽しむ」「学ぶ」「守る」を3つの柱として取組む。

- ①地域に誇りと愛着をもち、持続可能な地域づくりを目指す
- ②多くの人々が学び楽しめる事業を推進する
- ③自然環境に配慮した保全活動に取り組む

【活動計画】

<楽しむ> 地域住民や来訪者が佐渡島をまるごと楽しめるジオツーリズムを推進する。

- ・教育旅行向け体験プログラムの磨き上げと情報提供(観光振興課・佐渡学センター・文化財団と連携)
- ・ジオツアーの商品造成(佐渡観光交流機構で販売)
- ・海を楽しむ活動(スキューバ等)の検討(観光振興課・観光交流機構や企業と連携)
- ・ジオパークガイドの養成・研修
- ・ジオパーク食の普及(公民館・健康推進員・ホテル等と連携)

<学ぶ> 体験学習を通して、佐渡島の自然や動植物、歴史、文化を学び、郷土愛を育む。

- ・地域や学校での教育・普及の充実
- ・日本ジオパーク全国大会での発表
- ・新潟県内ジオパーク子どもの交流事業の実施(新潟圏域ジオパークとの連携)
- ・SadoGeoClub(中学生、高校生を対象としたクラブ)の開講
- ・ジオパーク防災教室の開催(気象台・防災課と連携)

<守る> 地域説明会や調査・研究を行い、貴重な地質・文化・自然資源等を保全する。

- ・サイトごとのストーリーやコンテンツを整理した活用
- ・ジオサイトの点検・草刈り等の整備(生活環境課と連携)
- ・地域の歴史や文化を含む地域説明会(→保全や地域振興につなげる)(佐渡学センターと連携)
- ・調査・研究による学術的な裏付けと協力、活用
- ・佐渡ジオパークフォーラムの開催

<共通>

- ・世界文化遺産・世界農業遺産との関連事業の実施(世界遺産推進課・農業政策課・団体等との連携)
- ・気候変動や海洋ごみなどのSDGs等に対する啓発事業の実施(総合政策課や企業と連携)
- ・多様な専門員や関係機関との連携
- ・戦略的な情報発信

【計画の期間】

○計画の期間

令和6年度から令和15年度までの10年間

○アクションプランの期間

令和6年度から令和10年度までの5年間(前期)